

## 会議録

会議名	第3回 天草市上下水道事業運営審議会
日時	令和6年5月28日（火）午後3時～午後5時
場所	本渡浄化センター 3階会議室
出席者	・審議会委員9名 ・事務局 10名 ※最終ページに掲載のとおり
資料	出席者名簿 説明資料（計画と実績からみる事業財源の見込み（水道・下水道）） 参考資料（経営戦略（水道・下水道））
記録方法	会議内容の要点記録

### 会議内容

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会 〔司会：経営管理課長〕
会長	2. 会長あいさつ <p>前回3月末に第2回を開催してから2ヶ月ほどなんですけれども、その間私もNHKに呼んでいただきまして、クローズアップ現代で「水道クライシス」というテーマでコメントさせていただきました。それ以外でも新聞や夕方の情報番組でも水道を取り上げていただいています。</p> <p>能登半島地震以降、水道、下水道への関心が高まっています。特に水道施設の老朽化もそうなんですけど、水道料金の改定が全国のあちこちで行われています。水道料金の改定は各市町村で条例を定めることで改定が出来ます。条例を定めるということは議会で審議いただき可決しないといけない。</p> <p>ここと同じく私が審議会の会長をさせていただいている豊中市では、改定案が議会で否決されました。水道料金の改定は差し迫った重要な案件なんですけども、政治的にそこをきちんとご判断いただかないといけないというプロセスも係わってきます。そのためにはやはり市民の皆さんのご理解をいただいたなかで、議会で承認いただくというプロセスが非常に重要になります。</p> <p>今日お越しの皆さんはある意味市民の代表ですので、水道・下水道に対してより深くご理解をいただきまして料金の大切さというものを今一度ご理解いただきまして、今回しっかりと審議して市長に料金改定を含めた天草市のこれからの水道について答申としてまとめたものをお渡ししたいと思っておりますので、今日も含めましてぜひ忌憚のないご意見をいただきまして、審議いただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	3. 議題 <p>(1) 計画と実績からみる事業財源の見込み（水道事業） 〔説明：経営管理課水道庶務係長〕資料に沿って説明。</p> <p>(2) 計画と実績からみる事業財源の見込み（下水道事業） 〔説明：経営管理課下水道庶務係長〕資料に沿って説明。</p>
委員	(3) 質疑応答 <p>下水道の8ページで動力費の令和4年度と5年度を見てみると4千万円くらい増えているわけなんですけども、理由をお願いします。</p>
事務局	令和4年度までが決算の数値、5年度は予算の数値となっているためです。現在電気料金が上昇傾向となっていますのでその辺も影響があります。
委員	来月6月から電気料金が40%くらい上がるということですが、そのことはこの資料の数値には反映させてあるのでしょうか。
事務局	この資料の数値は、今日、お手元にお配りしている経営戦略の数値を用いています。経営戦略は令和5年3月の策定ですので令和4年度中に改定作業を行いました。ですので、今回お尋ねの今年6月からの電気料金の値上げについてはその当時その情報は把握できていませんでしたので、今日の資料にも反映できていません。
委員	年間の電気料金というのはどのくらいになりますか。

事務局

水道事業では資料の9ページ動力費をご覧ください。  
令和4年度で135,462千円、5年度は193,815千円の予算を組んでいました。しかしながら、5年度は国が電気料金に対する助成を行ったため予算よりはだいぶ安くなる見込みです。

委員

一般会計とは何でしょうか。  
また、一般会計繰入金というのは何でしょうか。

事務局

一般会計というのは市役所の普通の会計、財布とっていただければと思います。市政だよりで歳入がこれだけ、歳出がこれだけというような予算や決算のお知らせをしています。  
水道事業は特別会計といって市役所の一般会計とは別の財布になります。要件に応じて市の一般会計から水道事業の特別会計へ繰出、繰入という形でお金が移動します。

会長

その要件の内容も教えていただけませんか。

事務局

天草市のように条件が不利な地域などはどうしても水を供給するのに費用が高くなってしまいますので、その分を補てんする高料金対策という名目で繰出、繰入れを行うものがあります。  
また、資本的収支の方には水道管や施設を作ったり、更新したりする際に資金の借入を行います、その償還金の一部を一般会計から繰入れるといったものもございます。

委員  
(総合政策部長)

極端な言い方になりますが、水道、下水道、病院事業を除いた市役所がやっているいろんな事業は一般会計というところで処理をしまして、国からのお金は一般会計に入ってきます。その中で、水道事業に関係するものは水道事業にお渡しするという形になっています。これがここに出てきている一般会計からの収入ということになります。

委員

ということは水道事業などがしばらくは赤字になっても大丈夫ということになりますか。

委員  
(総合政策部長)

一般会計からの繰出しにもルールがあって、なんでもかんでもというわけには行きません。

委員

一般会計からの繰出しがなければ賄えてないということですか。

事務局

そのとおりです。

会長

すべての費用を皆さんの料金で賄おうとするものすごく水道料金が高くなりますので、ルールの中で市から水道事業会計の中にいくらかお金をいただけるということになってますので、それを受け入れることによって水道料金を抑えられるということです。ルールがありますからそれを前提に水道料金を決めているのですが、当然一般会計からの繰入がなくなれば料金改定しないとたなくなります、あるうちはなんとか成り立っているということです。

副会長

それも実際には皆さんの税金です。

事務局

今、委員から「水道料金だけでは賄えてないということですね」というお尋ねがありましたので、ちょっとデータで申し上げますと、水道料金で水を作って皆さんにお届けするまでの費用をどれだけ賄えているかという指標がございますけども、水道事業の場合令和4年度で天草市は86.85%しか賄えていないという結果が出ています。全国平均で申し上げますと95.52%ということになっています。

会長

すごく大事なことです。一般会計からお金を入れないと成り立たない。それは水道と下水道で比べると下水道の方がもっと一般会計からお金がたくさん入りますから、それでやっと成り立っている。そこが無くなると成り立たなくなることもあります。一般会計からどれくらい入っているかというところは気を付けて見ていただければいいと思います。そのところでわからないことは全部質問してください。

委員

今、天草で86.85%ということをおっしゃったんですけども、これは収益的収支の分と捉えていいのでしょうか。資本的収支は入っていないと、設備の更新とか改良は財源がないということですね。

事務局

86.85%は収益的収支の部分でございます。

事務局

一般財源の関係を補足で説明いたします。

天草市には簡易水道というのが各地にあって、それを今、上水道に統合したんですね。簡易水道というのは結構優遇されていて、国からの補助が来てたんですけど、統合しなければいけない状況になって、10年間の間にですね、最初の5年間は100%、6年目から段階的に減らされて、10年後には0になるということになっています。資料の7ページの繰入金が年々減少しているのはそういった理由がございます。

会長

統合は何年ででしょうか。

事務局

平成29年4月1日に統合しています。

簡易水道に関する減少が始まりましたのが令和4年度からです。4年度が9割、5年度が7割、6年度が5割、7年度が3割、8年度が1割になりまして、9年度からは0ということになります。

会長

いくつの簡易水道を統合なさいましたか。

事務局

9です。

会長

天草市は小さいところを統合して、一生懸命にみんなで支えましょうと頑張っているんですね。

委員

今のうちからみんなでした方がと思います。天草全体を考えますと人口減少は仕方ない。要するにもう水道料金を上げるしかないわけです。

委員

確かに人口減少が今云われていて、天草は消滅都市として名前が上がってきているじゃないですか。実際、子供が減少して、出生数が減っていますし、例えば今の子どもが大きくなった20年後とか30年後を考えた時、人口がどうなっているのかな、とてもこの水道料がどれくらいで賄えていけるのだろうかとか、個人負担がどれくらいになっているのだろうかとか、とても考えるところです。

委員

流通がですね来なくなっているんですよ。本渡止まりで小さい個人の商店とかは本渡まで取りに行かなくてはならなくなっているんですよ。

委員

2024問題で、これまでは天草隅々まで卸の業者さんが持ってきてくれていたんですよ。それが本渡までになって、あとは取りに来て下さいということになって非常に住みにくい地域になっているということなんです。

副会長

下水道は独立採算で行かれるんですか。水道は基本的に独立採算で、自分たちで回していくという基本なんですけど、下水道も同じような考えでやられているのでしょうか。

事務局

下水道も企業会計ということで、水道と同じく経営戦略も策定しておりますので、同じような形で経営してことになります。

副会長

下水道料金で基本的には賄っていくという考え方でおられるんですね。さっきのシミュレーションだと令和14年度まではまだなんとか黒字の状態でも賄えると剰余金がそれなりに残っていくと、ただ14年度に向かうに連れて減っていつてますが、15年度以降もシミュレーションは出来ていますか。

事務局

経営戦略で見込んであるのが令和14年度までです。

副会長

今回（経営戦略が）改定されているんですけど、印象として緊急性があるのは水道事業の方がより喫緊の課題とみてよろしいですかね。

要はですね、この会議体どっちの方向にもっていくのか。料金改定を考えざるを得ないというのは間違いないと思うんですよ。その時に、水道料金を当然値上げするっていうのは、皆さん頭の中ではそういうような準備の段階だと思うんですけども、下水道もそういう風に今の段階で改定されるような方針を考えておられるということなんですかね。

事務局

下水道も収益的収支の方で赤字という見込みも出ておりますので、それが積み重なってくると、ちょっと矛盾するんですけど資本的収支の内部留保の方が若干上がっていくというですね。ただ、経営戦略と決算をみても建設改良の中でも補助の対象にならない耐震化とか、突発的な工事であったりとか起債の対象にならないものも出てくる可能性があるんですね。経営戦略では、そこまでのシビアな見込みを立てていないので、実際蓋を開けてみると内部留保資金の増大にはならないという見込みというか想定をしているところです。

副会長

その辺を理論武装しておかないとこの運営審議会ではまともでも、議会では色々出てくると思うんです。下水道の方は大丈夫なの、という印象を受けますので、そこはしっかり説明されるような、何かしら根拠とは言いませんがそういうものを持っておられた方がいいかと思います。

水道の方は収入を増やしたいというのはもちろんなんですけど、経営戦略拝見したんですけど、ダウンサイジングとか或いは統合とか出てるんですが、実際にはそういうものって具体的に何か効果や支出削減に繋がったりするんですか。

事務局

即効性のあるものとしてはなかなか出しにくいんですが、前回の審議会の中でもお話が出ましたが、施設の統廃合であるとかの基本計画を水道課の方で5年度と6年度の2ヶ年で策定を行っているところです。簡水と上水を統合いたしまして、それぞれの地区にあったものをうまく統合できないか、統合によって浄水場などの施設を減らすことができないかということの調査・検討を進めています。

副会長

それは実際には実現しそうな話ですか。それによってかなり支出を減らしたりできそうなものなんですか。そういう見込みは今回の戦略には入っていないんですか。

事務局

経営戦略自体には方針のみを掲載しています。

副会長

結局そこも突かれますよね。

要は金くれ、金くれだけではなくて、どれだけ支出を減らす努力をしたの、ということが必ず言われますよね。ですから、そこを何かしら、こんなことを実際にやっているんだとか、或いは確実にするんだとかそういうものがあつたほうが市民の皆さんもそうですし、議会の理解も得られやすいだろうと。天草市の議会の状況を詳しくは知らないんで分からないんですけど、大抵そういう話は出てきますよね。だからそこも少し考えた方がいいのかなと思うところがあります。

質問ではないのですが、県の水道ビジョンがもうすぐ公表されると思うんですが、次の審議会とかでおそらくですけど水道料金との関係はどうなってくるのか、実際将来どのくらい上がるのか、というようなお話をせざるを得なくなると思うんですけど、その時にですね、おそらく次の審議会の時は、県の水道ビジョンが公表されていると思うんです。先ほど料金回収率86パーセントくらいでしたよね。これ県内市町村で簡易水道と上水道と全部リストがでると思うんです。なので、天草市がどういう状況なのかというのを、今まで天草市だけの情報で説明されてたんですけど、県内の市町村で天草市は水道料金でいうとワースト3か4なんですよね、10㎡、20㎡当たりの水道料は熊本市の約2倍なんですよね。それをさらに上げるのかという話になりかねないんですね。一方で上げざるを得ない事情もあるわけなんですよ。給水原価がとても高いんですね。管路も広範囲に布設されているし、簡易水道も統合しているし、そういう状況をまとめて熊本県内でなんでこんなに水道料金が高いのっていうのを逆に説明する意味でも、他の市町村との相対的な部分を示しながら、県のそういったデータを示しながら説明をなされると皆さん納得される。なんでこんな高いという不信感だけではなくて、これはこうだから高いんだということを、他とは違うんですよというふうな説明をなされたら仕方ないのかなっていう。

でも一方で、シミュレーションも県が出してますよね、今、令和元年度と令和56年度の値を示しているんですよ。天草市でいうと給水原価が大体3倍くらいなんです。シミュレーションで、あくまで推定で。そうすると10年間で給水原価は1.3倍から1.4倍、10年後で。20年後で1.8倍、30年後で2倍を超える。というような給水原価になりますよね。もしそれを、水道料金で賄うというんなら、同じように水道料金は10年後には1.3か1.4倍、20年後には1.8倍になるというような。それもまた、天草市だけを示すんじゃなくて他の市町村はどうなのかと、全国までやると多すぎて収集つかないでしょうから、県内で市町村比べてみれば状況は大体こういう位置づけで、こういう状態にある、インフラである上水道でさえこういう具合になるんだっていうのがわかりやすいと思うので、ちょっと藪蛇になるのかもしれないけど、むしろ初めから県内の他と比べると比較して正直に出された方が理解を得やすいんじゃないかというふうに思います。

事務局

確かに施設も多いし、水源として自己水源のダムを持っているのは天草ぐらいです。全国的にも水道事業が持っているところはそんなに多くないのかなと思います。佐伊津みたいにポンプで汲み上げてそれをそのまま滅菌して飲むというところは珍しいというか熊本市内はそうなので実際半分くらいでできるんですけど、浄水場を作って、例えば硝酸性窒素というのが問題になっているんですけど、地下水が問題あれば浄化するにはまた費用が掛かるんで、もしそれをやらなければならないんであれば熊本市あたりでも料金を上げるということになると思われま。今は現状としてそれが落ち着いているものですからこの料金です。天草は元々水源がないんで川の水だとか、溜めた水だとかを作らなきゃいけないというようなところを私たちも説明していかないといけない、他とはこういうふうには違うんですよということをはっきり皆さんにお伝えをして、次は料金改定の部分に触れていくのに対して施設をもう一回説明をしたうえで、皆さんにお示しをする必要があるのかなというふうには思っています。

330の施設をイメージとして250くらいに落とせればなど、それを落としても2割くらいしか動力費だとか管理費とかは落ちないのかなと思っています。それ以上減らすと給水の関係で厳しくなる部分が出てくるのかなと思われま。今その作業を水道課の方で進めています。そこがある程度まとまりましたら、皆さん方にはお示ししていきたいと思っています。

副会長

一方でこれもよく出てくる話なんだけど、こういうのって水道料金だけじゃないと思うんですけど、やっぱり逃げて行かれちゃうんですよ住民に。ここに住んだら水道料金高いな、とか。経営云々では図れない。先ほど一般会計からの繰入の話ありましたが、ここは(料金回収率)86だけど他の簡水なんか40パーセントとか低いんですよ。県内のある自治体は回収率19パーセントです。水道料金では全然賄えてない。80パーセントを、税金を一般会計から入れている訳ですね。そこまでしてでも水道料金はあまり上げないで、変な言い方ですけど住みやすいじゃないですけどそういうのもありなのかも知れないですね。そういうのも含めて方針を出されるのを考えなきゃならないのかなと思いました。

事務局

市の施策としてこういう部分はどこかで出てくる問題かなと思っています。ありがとうございます。

委員

田舎の方とか、道路のここまで上水道、下水道の本管が来ているけど、そこから自分の家に敷くのに20万、30万円と個人負担が高いので出来ないっていう方の声を聞くんですよ。そういう人たちに少し手当してもらって繋いでもらったら収入も増えるのかなと思うのですが。

佐伊津は下水道だけなんですけど、事業所は高くなるので接続できないということで結構下水道に接続していないところも多いじゃないですか。市に対して少し安くしてもらえないかという話をされたみたいなんですけど。

事務局

今の下水道の料金体系が使えば使うほど高くなります。だから事業所になると量的に多く使うので、今の料金体系だとどうしても高くなります。浄化槽を持ってらっしゃるところは浄化槽をやり替えた方が将来的には安いんじゃないかということで多分接続されないところもある。料金を落とせばいいんですけども施設のにもある程度お金が掛かっているものから、それで料金を設定していて、普及率を上げたいのもやまやまなんですけど、エリアもそれ以上広げてしまうと処理が出来なくなる。水道も同じで、今はもう余ってきているんで結構ですけど、ただ伸ばした分で回収できるかという逆に赤字が膨らむっていう部分もあるものから、そこは色々土地の条件とかいろんな今後の見込みとかを考慮しながら施工しているところですのでご理解いただきたいと思っています。

会長

今、水洗化率見ましたけど高くないですね。ここが上げられれば少しはと思うんですけど、そこに来てるんですから繋いでいただかないと。そこは単独浄化槽みたいなのが入ってたんですか。

事務局

汲み取りが多いです。単独浄化槽を据えていらっしゃるところは比較的繋いでいただいています。汲み取りのところは、自分たちの代でこの家は誰もいなくなるんで、その費用を捻出するのも大変だからというようなことでなかなか接続も進まないといったところです。

会長 人が代われれば当然接続されるんでしょうけど。今のように人がお住まいにならなくなってしまふところはなかなか難しいですね。

事務局 跡取りがいるとやるんだけどというところが結構、戸別訪問したときに聞きます。

会長 全国的に特に漁集排とか特定環境のところは合併浄化槽に切替えるとか、集合処理の人口密度が悪くなってくると維持管理する費用を掛けるより、合併浄化槽を随時入れてもらった方がコストが安いということもありますので、下水道に関していうと、今おっしゃられたように接続していただけないのなら将来的には合併浄化槽という判断になりますね。

副会長 合併浄化槽は天草市の場合は、行政が面倒みておられるんじゃないんですか。

事務局 それはですね旧町単位があつて、倉岳町と新和町と天草町は市町村型とって料金を徴収して面倒をみるということをやっているんですけど、あと3年後には個人に譲渡することになっています。

副会長 そうしないとむしろ赤字でしょうね。だから合併浄化槽の場合は、個人に譲渡すれば行政の方としてはいいんですよ。逆に引き取ると赤字ですよ。

事務局 (浄化槽の)整備をきちんとして大丈夫な状態でお渡すことにしています。個人の浄化槽が13000程度、市町村設置型が1200程度となっています。

会長 今日は、どこが水道料金の基となる費用で、それが水道料金としてどれだけ回収されているか、先ほど80数パーセントというお話もございました。それともうひとつ投資の勘定が資本的収支という勘定があつて、建設改良費と企業債償還金に対してどれくらいのお金が入ってきて、足りない分を内部留保資金でどれだけ補てんしなくてはならないか。だけど内部留保資金がどんどん減ってきていて、貯金ですよ、それがマイナスになると本当に投資もできなくなる。古くなった水道管も替えられなくなりますから、いよいよ料金を上げて収入を増やしていかないと必要な投資が出来なくなりますからということで、料金改定をしなければならぬタイミングがいずれ来ますよということ、ちょっと数字の流れをご理解いただいたんですけども、いよいよ次はどれくらいの料金改定が必要になってくるのか、どれくらいのタイミングにそれが必要になってくるのかという話をされるんですけども、先ほど川越先生からありましたようにやはり将来どれくらいの投資が必要でどれだけ努力して抑えてもこれだけの投資は必ず必要ですという投資計画ですね。

どれだけの仕事しないといけないのか、どれだけのお金がかかるのか、それに対してどれだけのお金がそこに充てられるのか、今の料金収入が改定せずに進むと絶対足りなくなりますというところがきますので、そのために料金改定しますという話をしないといけません。

今日、数字の推移はご説明いただいたんですけど、数字の推移だけでその数字の裏の情報というのを、次は投資についてきちんとこれからの投資についてちゃんとご説明いただいて、皆さんにご理解ご納得いただいたうえでどれくらいの費用がかかって、どれくらいの料金改定がいつのタイミングで必要なのかということ、きちんとかご納得していただいて先に進まないといけないと思いますので、熊本県からの情報も出てくるでしょうし、周りの市町村との違いで天草市とうのは今こういう状況にありますとか、或いは天草市の中の人口動態とか今の密度、これからの密度のようところもきちんと天草市の特徴というものをご説明いただいた中でこれからどういう形で投資をされていくのか、どれくらい費用がかかるのかとうのをご説明いただかないとなかなか皆さんご納得いただいてお支払いいただけない。

その先にはおそらく市の将来的な施策として市が水道を守るということになれば、これは市町村営主義という水道のある意味良い点だと思うんですけども市から繰入れをしてということも施策としてはあるかもしれない。ただこれは水道事業体の判断では出来ないので、あくまで今は上下水道事業体として出来る範囲の中で議論していかないとはいけませんので、その中で一生懸命やってもやはり費用が掛かって、それに対してそれに見合う料金をお支払いいただかないといけないということをきちんとご説明いただかないといけない。

ストックマネジメント計画とかアセットマネジメント計画とかこういったことをきちんと策定いただいた中でご説明いただくことが次のステップとして重要になるかと思っております。

今回は算定期間というのは、或いはシミュレーションとして数字を出せるのは令和14年度までですね。経営戦略の終期の期間までのところまでしか出せないと思いますので、そこまでの数字をみてどれくらい費用がこれから掛かっていくのかっていうのは出していただけるんだろうと思います。

ですので、これからいよいよ天草市が将来どうなっていくのかというところをですね、今までの情報を踏まえて皆さんにご理解いただいて、どんどんご指摘いただく機会がありますので、よろしく願いいたします。

今までのところで何か、今後こういう情報も知りたいとかいうのがあればご発言いただきたいと思います。

委員  
(総合政策部長)

会長からも色々お話いただいたとおりですね、今後どうやって天草市の方が進めていくのかという部分で、まず実際に水道、下水道を運営していくためにどれくらいの料金でいくのかと、天草市を選んでもらうためにはどの辺まで抑えておかなければならないのかというところがですね最終的なこちらからの、一般会計からの持ち出しも含めたですね、天草市としての方向性というのを出すような形になりますので、皆さん方からこれくらいだったらいいだろうとかのご意見をいただきながらですね着地点といいますか、そういうところを見つけていければいいなと思います。

事務局サイドとすれば今言われたような資料を出したところで、シミュレーションをしっかりとって議論していただくようなことを作っていければと思いますのでよろしく願いします。

委員

川越先生がおっしゃったとおり地域の魅力を減させるような水道料金だったらいけないと思うんですね。そういうところで天草は移住者も来てるようなタイミングですので、植田部長もおっしゃったとおり一般会計からの持ち出しを多めにして水道料金を下げて。政治判断という部分も多少あるかと思うんですけど、できる限り、会長のおっしゃったとおり平均的な、これが基本的ですよというところを出して行って、政治の責任を持っている方々のご判断になっていくところもあるかと思っておりますので、会長のお力でいいところのレベル出しをしていただければなと思います。

会長

10年、20年～50年後という長い目でみると費用は上がってきます。それに対して人口は落ちてきますから一人当たりの負担というのは必ずどんどん上がってきます。先ほど3倍とかございましたけど、一人当たりにするともっと上がります。だけど、絶対これ以上負担できないというところがあると思うんですね。それは今世界的にアフォダビリティといって、所得の何パーセントまでしか水道料金は上げませんとか、そのあとは政治的に一般会計から入れないといけないとかそういう政治判断になってくるかと思っておりますけども、日本ではまだ全然行われていませんので、料金が高くなっていった自治体が率先してそういった議論に踏み込んでいくことも大事だと思いますのでぜひ市民の皆さんに声として「これ以上は駄目」というところをですねおっしゃっていただければ、もしかしたらそこが政治的な判断として、それ以上コストが上がっても料金はここまでしか上げませんという上限になってくるかもしれませんし、そういう話になるかどうかですけども。でも費用は絶対上がっていくんです。これは仕方がない。水道のシステムを維持しようとするれば費用は絶対に上がります。だけどそれを全部料金で負担できるかっていうところには絶対限界が出てくると思います。そのあたりも皆さんのお知恵、ご発言をいただきながら、是非、ともに考えながらですね、負担できるところまでは負担する、それ以上はもしかしたら市に働きかけるとか、国に働きかけるとかそういった形で声を上げていかないとはいけないと思います。日本で一番最先端の水道の問題を抱えているという自覚をもって次回以降の審議会にご参加をいただければと思います。

副会長	資料みたいな出される時に例えばこの年度にここを更新するとかいうようなものも出されるんですか。今日の資料だと全部押し並べられてますよね金額が。実際にそういうふうな押し並べた形で更新を計画されているんですか。あまり凸凹はない感じになってる気がするんですよ。それどういう計算になってるか分からなかったんですけど、ほんとにそんな感じで凸凹なくなされる計画がきっちり立っているという意味ですか。
事務局	そこは上限をある程度決めてやって、それに対して優先順位を決めてその範囲内で計画を立てています。
副会長	じゃあほぼ今日出されてた計画で、実際に管路なり施設なりの更新がなされていくと考えていいんですね。
事務局	はい、ここ10年間はその範囲の中でということですが。 ただ、こっちがちょっとこの路線が計画してたんだけど、こっちが今漏水がひどいからこっちにもってきてという内部のやりかえはあると思います。
副会長	じゃあ割とあんな感じで、年度で凸凹なく下水も水道もですね。
事務局	ただし、その後の更新なんかはこのままじゃ追いつかないので、14年度以降は集中的にやらないといけないと考えています。
<b>4. その他</b>	
次回第4回の審議会日程を7月23日（火）15時からに決定した。	
<b>5. 閉会</b>	

天草市上下水道事業運営審議会 名簿

	氏名	所属・役職	出欠
委員	浦上 拓也	近畿大学経営学部 教授	出
委員	川越 保徳	熊本大学工学部 教授	出
委員	野崎 多喜子	天草市商工会 女性部長	欠
委員	野上 俊樹	本渡商工会議所 副会頭	出
委員	中村 富人	牛深商工会議所 副会頭	出
委員	稲津 千明	倉岳まちづくり協議会 会長	出
委員	佐藤 千恵子	天草市地域婦人会連絡協議会 理事	出
委員	原田 良	天草本渡青年会議所 理事長	出
委員	澤田 福美	NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ 理事長	出
委員	植田 伸広	天草市総合政策部長	出

	氏名	課名・役職	出欠
事務局	齊藤 正	天草市水道局長	出
事務局	浦崎 和義	経営管理課長	出
事務局	福田 和行	水道課長	出
事務局	田中 司	下水道課長	出
事務局	山川 勝登士	経営管理課 水道庶務係長	出
事務局	宮本 諭	経営管理課 下水道庶務係長	出
事務局	宗像 俊治	水道課 工務係長	出
事務局	浦崎 貴裕	水道課 施設管理係長	出
事務局	松尾 裕文	下水道課 施設整備係長	出
事務局	沖津 悟	下水道課 施設管理係長	出